



リステラス星圏史略  
古資料ファイル  
3 - 0



～放浪者たち～（仮題）

（発掘整理中）

霧樹里守 i s 土岐真扉

月面及び木星岩石帯（草星）遺跡をのこした超古代文明を第一期、惑星地球上の失なわれた大陸の文明を第二期とする。

二度の破局をのりこえ、海底に没した大陸を捨てて惑星全土に避難して散った人類が、地域によっては一旦、完全に原始レベルへ退行したところから、それぞれの集落ごとに独自に、てんでに再興したものを、無理矢理相互間で流通させ、あまつさえ武力づくで「統合」しようとさえし——ついには失敗して三度目の滅びへの道をたどった。それが惑星地球における第三期文明であり、その後遺症は第四期めの千二百年を経た現在まで続いている。

三期文明の特徴として最大のものは、言語・信教・価値観などの極端なまでの不統一である。この原因は、二期文明滅亡の際に緊急避難として居住不適地にまで多くの集団が送りこまれてしまい、そこでの生存を試みねばならなかったこと、かつ、過酷な環境と労働によって成人が寿命を全うできず、文化や技能の伝承が困難あるいは不可能だったこと、くわえて、磁界の混乱と疑似氷河期の到来によって集団相互の交流がまったく断たれていたこと、などである。数万年に及ぶ惑星規模文明の消失期を経て、人類が再び行動半径を広げはじめた時、かつては単一ではないまでも共通の言語を持ち、ひとつの大陸上に暮らす遠い親戚同士だった彼らは、互いに相手を非・人類と考え、異なる文化形態を野蛮と見なし、居留地間に人為的な境界線を設定して区分を明確にする方法を発明した。一方で、現存人類の繁殖力に圧迫された旧来の土着の亜人族類は次第に衰退し、消滅していった。

局地的ながらもある程度の技術水準と行政機能を持つ都市及び国家が複数成立すると、彼らは異なる文明間で最低限の意志を通じさせる為の手段を開発し、商業活動を行なうようになった。経済的な利害関係はやがて外交もしくは軍事力による相互の合併吸収をまねき、小国・小集落は次第に整理統合され、あるいは連立して、より広域多人数の国家へと成長する途をたどった。

侵略・征服・逃亡・移住・同盟・統合・分裂・改宗・改革、等といった歴史上の必然をありとあらゆる局面で短期的かつ小規模に繰り返し続けた各大陸文明のうち、いち早く他の大陸へ侵攻する技術と経済力を確立した欧州大陸文化圏が、他文化圏に侵入・征服して惑星規模での一応の覇権を握るに至ったが、その段階においてさえ、欧州文化圏ひとつの中に十を超える主権国家と、それ以上の言語・民族が併存し、競合していた。

その欧州圏を中心に、産業技術と物質偏重型文明が、急激かつ爆発的に発生・成長して惑星文

化全体に影響を及ぼし、各国は産業による富の基盤となる地下資源の占有権を求めて、激しい競争を展開し、発達した技術力を軍事に注ぎこんで戦闘行為に用いた。被害者たる弱小諸国をまきこんでの、強国間における数度の局地戦と二度の大戦争を経て、あまりにも強力すぎる全人類規模の殺戮兵器が開発され、各国ともにその使用を恐れた為に、一時的に、武力行使より外交策をよしとする風潮が生じ、その間、文化及び商業的技術が飛躍的に発展した。また、惑星外へ進出するための技術開発が始まり、地表上の国境の枠組みから離れて、事象を地球単位で捉えようとする思考法が発生した。

《ティカーセラス》史。 (2014年8月22日)

---

[ナイショじゃないっしょ。\(ないしょの3\)](#)

2014年8月22日 [リステラス星圏史略 \(創作\)](#)

今回ないしょにしない。(大事なところから★)

《ティカーセラス》史。

【五大陸分散期】 各大陸各地にて人類生存、分化発展。

(※各文明圏史・地方国家内史は別巻参照)

群雄割拠。武装集団ごとの機密保持の必要性による共通言語の喪失。

《白の一族》とその分派《色の七支族》技術指導による孤立文明間の遠距離交易始まる。

各大陸複数国家群生代。侵略と独立、圧政と蜂起の戦乱相次ぐ。

政治産業改革。第一回全国家間協議会。国際商取法成立。

第一次全大陸大戦。停戦。第二回全国家間協議会。

第二次全大陸大戦。終戦。第三回全国家間協議会。これより常設定例議会となる。

《東神帝国》、国家協議会離脱。《汎東海神国》建設を宣し、沿岸国家へ侵攻開始。

《第二の月》、《アルヴァトーレ》により母星衝突回避。衛星軌道に固定。

第三次全大陸（熱核細菌）大戦。宇宙空間への避難移民開始。

《宇宙民》独立宣言。攻撃衛星群を支配下に母星上全勢力に対し全抗争即時停戦と全武装解除を要求し「脅迫」。全戦域で停戦成立。

《月都市》と《母星上全国家間協議会》による共同統治。計画的「全人類」宇宙脱出計画始まる。

参照

<http://76519.diarynote.jp/200610100008540000/>

<http://76519.diarynote.jp/200610120248330000/>

> 第二次全大陸大戦。終戦。第三回全国家間協議会。これより常設定例議会となる。

(←今ココ！)

> 《東神帝国》、国家協議会離脱。《汎東海神国》建設を宣し、沿岸国家へ侵攻開始。

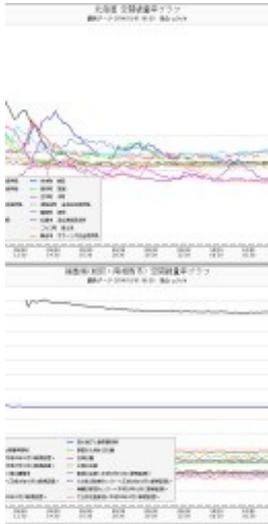
「白の民の血筋の末か？この星を三周したこどもじゃの。」

(2014年9月30日)

<http://85358.diarynote.jp/201409301550305482/>

## 磯原岳人の物語。

2014年9月30日 [リステラス星圏史略](#) (創作) [コメント \(3\)](#)



後で書くためのめも。(^\_^;)

ネタばかりどんどん増える...

(^。^;)

これね。(一一;)

<http://76519.diarynote.jp/200609282032080000/>

核ひま...もとい、

書いてる暇が今秋はない... (一一;)

といってるひまに加工！(いや書こう...)

「白の民の血筋の末か？この星を三周したこどもじゃの。」

「え...？ ...三周じゃきかないんじゃないかなあ...」

彼は自分の取材の旅の数の多さと渡航歴と、パスポートの判の多さを思い出しながら答えた。

光は笑った。

「そなた一人の動きのことではない。血脈が、の話じゃ」

(参照：<http://85358.diarynote.jp/201409291341256175/>)

「この者の行く末を頼めようか、《火の白》よ」

「...わが身には過ぎた名をいただきました、《水の継》様。」  
白の一族の長末娘は膝を折って答えた。

「謹んで。我が後半生を捧げ、お仕えいたしましょう」

火  
白  
水  
月  
青

炎  
金  
禁

んで。いま聴いていたのはこれね。(^^;)

[https://www.youtube.com/watch?v=KBdAnMaW9ME&index=23&list=RDnpQmn1\\_VZVI](https://www.youtube.com/watch?v=KBdAnMaW9ME&index=23&list=RDnpQmn1_VZVI)

[編集する](#)

コメント



[霧木里守≡畑楽希有 \(はたら句きあり\)](#)

2014年9月30日15:55

ところでコイズミが脱原発で、  
火山が危ないから原発止めろとかって、『日本沈没』漫画版のギャグ？

(-;-)

西日本、

被曝だけなら鬱か倦怠感か粗暴化短絡化だった人たちが、

火山ガスが加わったら、明らかに心拍数2倍化？

狂騒的躁病状態で、このままだと都市機能と経済活動が崩壊しますよ...



[霧木里守≡畑楽希有（はたら句きあり）](#)

2014年9月30日16:06

草津白根山。(-";)



[霧木里守≡畑楽希有（はたら句きあり）](#)

2014年10月1日8:53

「イギリスがイスラム国の空爆を開始」（1時間前）

...（--；）...

まさに。いま「未来史」の渦中...

《泥球界》の物語  
～色の七支族～

(仮題) 『アースとエフの物語』 (あらすじ)。 (2015年3月24日)

---

(仮題) 『アースとエフの物語』 (あらすじ)。

2015年3月24日 リステラス星圏史略 (創作)

(さて、リステラス史略が【2周目】に突入してしまい？

[http://76519.diarynote.jp/?theme\\_id=1](http://76519.diarynote.jp/?theme_id=1)

「コペルニクス的大展開」で、  
ずっと疑問だった「基本設定のズレ」が、  
追加訂正されつつありますよ。と...w (^ ^ ; ) w)

紀元前1万年ぐらい。

ウラル山脈からシベリア平原へかけての地域。

とある狩猟部族に双子が生まれる。

女兒はエレと名付けられ、部族を率いる偉大な巫女に育つと予言され、

男児はアースと名付けられ、厳しい試練ののちに部族にトーテムをもたらすと、告げられて育つ

。

双子が8～9歳ほどの頃。年々厳しくなる冬の寒さに、部族内の凍餓死者が増え続け、巫女と族長は雪解けとともに南への長距離移住を決める。移動の旅の途中、融けつつある氷河を渡る際、最後尾にいたアースは氷の崩壊にはばまれ、ウ部族から離れて対岸に取り残されてしまう。

孤独と絶望感に泣き崩れながら、川幅の狭くなる上流へ向け、ひとり移動を続けるアース。崖から落ち親からはぐれて雪に埋もれ、大鷲に襲われてキャンキャン鳴いている仔狼を拾う。

最初は双子の妹エルの名前で呼ぼうとするが、オスだったのと、あくびの音が「え～ふっ」と聞こえるところから、エフと名付けて育てる。

大河の上流をめざす旅を続けながら、エフはあっという間に育ち、アースに獲物をとってきて、「もう自分のほうが強いから、ボスは俺だ！」と、勝手に仕切り始める。(w)

冬。積雪数メートルの山間地の洞窟での越冬。エフに発情期が訪れ、雌の匂いを追って駆け去ってしまい、数週間戻らず。孤独と絶望から、アースの心、この時から壊れ始める。しばらくして戻って来たエフ、アースの様子をみて混乱する。

春。夏。秋。...

洞窟を中心に、ずっと一緒にいる穏やかな日々。

冬。再びエフは駆け去り、しかし数週間で戻って来るといふ毎年が続く。

(おっと時間切れ。またあとで～)

《白の一族》

水の十字架。

---

[水の十字架。](#)

2016年6月3日 [リステラス星圏史略](#) (創作)

水の十字架

水の守護符。

共通点： 銀に水晶を象嵌した珍しいものである事。

『 沼 の 一 族 』

《西天》 ...ソディア...

---

《 西 天 》  
...ソディア...

荒れるほどでもない砂風でぼんやり煙っている日だった。

黄色い砂塵をとおしてさしてくる陽光をさらに濃い黄昏にかえる玻璃（はり）の透かし絵窓の下で私は狩り具の手入れをしていた。

透かし絵は希望と絶望の神アゾルディアドのずいぶん凝った絵柄で、この砂岩洞のまえの持ち主だった玻璃細工師がひまをみては造りあげたものだという話だ。

最後の一枚、アゾルの顔の左眼をはめ残したままに、結局それは老いた細工師の遺作となり、縁起が悪いからと誰も買わずに、空き家になっていた洞窟を他所者の私が手に入れてから二年半になる。

気がむけば岩洞のすぐ裏手からはじまる沙漠へ【牙】を狩りに行き、そこそこの喰いぶちを稼ぎながら、天候の悪い日にはこうして道具を整えるか、書きとめるわけでもなく頭のなかで詩作にふけてみるか。

ここの暮らしは、けっこう安楽だった……《生死をわかつ神》（アゾルディアド）の《闇の半面》（アゾル）を見つめながら、長すぎる余生を送る流刑の身としては。

コトリ。

三本目の矢はずをそろえおえたとき、こまかい砂の小路から岩洞の石段へあがる、かすかな足音がひびいた。

—……かい？ おはいり。

近所の子供が使い走りで小遣いを稼ぎに来たのかと、私は顔をあげもせず声をかけた。

~~先触れの使いも出さず急に訪ってすまないが~~

静かに踏み入ってきた見知らぬ旅人は、旅に汚れた貧しげな外被をつけ、やはり ~~汚れた~~すりきれた ~~頭おおい~~を ~~手甲~~をつけた手で頭のおおいをはずす。

そこには、息をのむほどの美しいかんばせがあった。

かつて私の、唯一の、《希望》（ディアド）であった者の顔が。

……水流（すいる）。なぜ。ここに——

……久しいの、綾士（あやし）。街の者に聞いて来たのじゃ。先触れの使いもせず訪うてすまないことだが。

皇帝（みかど）の寵を一身にうける高貴の若者は、宮廷儀礼そのままに優美に一ゆうして言った。

.....聖君ぶりか。それも時と場合による。路銀がつきて、この三日みずだけだ。  
このよい匂いの源を、少し

香蛇竜（カダル）

『蒼稜夢譚』

---

『 蒼 稜 夢 譚 』

『水の大陸』 ～蒼稜譚～

2006年4月22日 [連載](#)

四民平等の理想の王国が西の果てにあったと言う。  
その楽土が攻め滅ぼされて、生き残りの末王子が、  
なぐさみものとして捕らえられて来たと言う。  
その話を聞いて、何故だか放っておけずに、  
危険を冒して末王子を救い出してしまった、  
街道筋の孤児の少年と、末王子が、  
放浪の末に北の山稜の裾野に辿り着き、  
もとの王国の家臣らも集まってきて、  
やがて楽土を再興したよ、という話。

しかし抜粋箇所によっては、単なる腐女子もの……★  
(^◇^;)

## 「失われた10支族」 (2016年9月16日)

---

[memo@18](#)

2016年9月16日 [リステラス星圏史略](#) (創作)

amaちゃんだ @tokaiama · 24時間24時間前

イスラエルは20年前にアミシャーブという法律を作った

世界に散った「失われた10支族」を探し出しシオンの地に戻すという宗教法である

そして失われた十支族筆頭のエフライム族こそ天皇、秦氏であると断定し、これを「シオンに戻す」プロジェクトを行っている

日本から引きはがすに必要なのは？

amaちゃんだ @tokaiama · 24時間24時間前

イスラエルが人類最大の宗教カルト国家であることが分らないと、イスラエルとアメリカによって「イスラム国」が創り出され、もの凄い大虐殺を行っている理由を理解することはできない

イスラエルはハルマゲドンの戦略としてイスラム国を創り、イスラムに対する信頼を根底から破壊しているのである

amaちゃんだ @tokaiama · 24時間24時間前

現在、アメリカ政府の職員として、もっとも採用されやすいのはモルモン教徒かエホバ信者といわれる

理由は、それがキリスト教でなくユダヤ教だからである

モルモン教徒はピューリタンの末裔で、先住民大虐殺や、アメリカが引き起こしたたくさんの侵略戦争を支持してきた

アメリカ政府はユダヤ人政府

私家版【人類最初にして最長の旅】の、仮説が完成しました...♪ ! (^w^)!  
(2014年9月30日)

---

<http://85358.diarynote.jp/201409300718058995/>

## The firstest GREAT JOURNEY ... 5.

2014年9月30日 [音楽 コメント \(5\)](#)

おはようございます。

07:17です。

とりあえず旅の続き。

タヒチに上陸〜...♪

<https://www.youtube.com/watch?v=kY53VMlcNoU>

「陸をかけるリズム」は伝承されてますが、それ以上に、  
「海に揺られる動き」(メロディライン)が、舞踊の主体になってきて  
ますね...♪

[https://www.youtube.com/watch?v=npQmn1\\_VZVI&list=RDnpQmn1\\_VZVI#t=903](https://www.youtube.com/watch?v=npQmn1_VZVI&list=RDnpQmn1_VZVI#t=903)

あれあれ (^w^;) ?

期せずして、海流に寄せられて?

一気にイースター島まで漂着してしまった...

[https://www.youtube.com/watch?v=\\_lfa1ru-ggo&index=4&list=RDnpQmn1\\_VZVI](https://www.youtube.com/watch?v=_lfa1ru-ggo&index=4&list=RDnpQmn1_VZVI)

探すテーマが省けた。

これを拾えたおかげで、

私家版【人類最初にして最長の旅】の、

仮説が完成しました...♪ ! (^w^)!

おまけ。 (^\_^:)

YUKARI(\*\*\*\*) (さよなら原発) @YUKARING1222・9月27日  
フリーメイソンがいかに音楽業界を動かしているか？  
イルミナティ：<http://youtu.be/Muv9SIGYRs> @YouTubeさんから

中身は（おそろしいので）まだ観ておりません...☆

さて、バイトに行くか...（ー；）

（なぜ（ー；）なのかは自自公...もとい、  
次々項目参照...★）

[編集する](#)

コメント



[霧木里守≡畑楽希有（はたら句きあり）](#)

2014年9月30日8:24

タヒチの歌詞が「あたるぱ」（アタウアルパ？）と聞き取れてしまうのは、  
空耳あおら??



[霧木里守≡畑楽希有（はたら句きあり）](#)

2014年9月30日8:30

良くも悪くも...

なんて色々と「すごい時代」に、生まれ合わせたもんだろうか...！



[霧木里守≡畑楽希有（はたら句きあり）](#)

2014年9月30日8:39

samndhraさんがリツイート

ルドルフ・シュタイナー @R\_Steiner\_jp · 3時間 3時間前

ファンタジーを生み出す才能で汝をみませ。

真理を求める勇気を持って、

倫理的責任への感覚を磨き上げよ。

— 一般人間学 —

黒川巧 @kurokawa\_t · 11時間 11時間前

大丈夫です！二十代後半なんてアリストテレスでもまだ大した事してません！君もこれからです

！ただしアレクサンドロス大王と比較した場合はもうペルシャ帝国滅ぼしてインドに侵攻してないと間に合いません！



[霧木里守≡畑楽希有（はたら句きあり）](#)

2014年9月30日8:44

samndhraさんがリツイート

ちらいむ @chilime · 14時間 14時間前

難聴気味の女性が「スマホを使うようになってから、あちこち出掛けることが苦でなくなった」と言うので理由を尋ねたら「人がいっぱい電車に乗っていても地図アプリさえ開いておけば降りる駅を乗り過ごさずに済むから」とそれはそれは嬉しそうに答えられました。技術が人を幸せにするの、素敵ですね。



[霧木里守≡畑楽希有（はたら句きあり）](#)

2014年9月30日8:52

人生で本当に大切なことさんがリツイート

恋人いません。 @yes\_single\_ · 9月25日

『NO MUSIC NO LIFE』って描かれたTシャツ着たやつがイヤホン外したから、あいつそろそろ死ぬ。

wwwww (^◇^;) wwww

リステラス星圏史略  
古資料ファイル  
3-0  
～放浪者たち～（仮題）

<http://p.booklog.jp/book/107475>

著者：霧樹里守 is 土岐真扉

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/masatotoki/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/107475>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/107475>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ